

府中町ふるさと歴史散歩 [第18回]

文化財としての地名 ④ 近世初期の地名

室町・戦国期を含む江戸初期までの古文書に記されている小字名は古代・中世の地名と同様に分類することができ

る。国府の関係では①辻・②中郷馬場(本町二・三丁目)、③石丁(国庁)・④石井(石井城一・二丁目)などである。当時の海岸線を示す地名では⑤濱之尻・⑥石井尻(本町四・五丁目)・⑦大崎・⑧出張・⑨市・⑩沖(宮の町一・四丁目)・⑪浜田(浜田本町)・⑫青崎(青崎南)などである。神社仏閣・城などに関係のある名称や地名は⑬石井丈(石井城二丁目)・⑭新宮(神宮)・⑮江本寺・⑯水分神社・⑰道立寺・⑱花蔵寺(または花蔵寺)・(みくまり一・三丁目)・⑲神山(北山大蔵)・(桜ヶ丘)・⑳山田稲荷・㉑山田海蔵寺(山田一・三丁目)・㉒寺山・

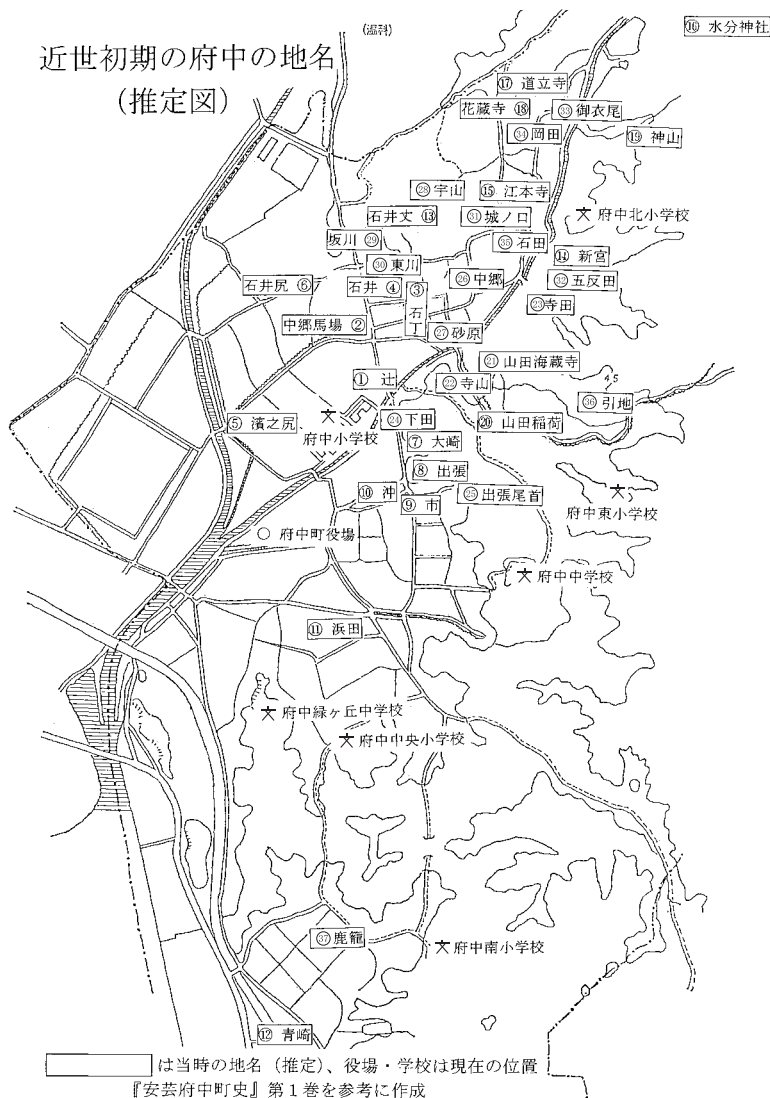
⑳寺田・㉑下田(または下田)・㉒出張尾首(宮の町三・五丁目)などである。当時の集落字名では㉓中郷・㉔砂原(本町三丁目)・㉕宇山(鶴山)・㉖坂川・㉗東川・㉘城ノ口(石井城一・二丁目)・㉙五反田・㉚御衣尾・㉛岡田・㉜石田(みくまり一・三丁目)・

㉝引地(山田一・二丁目)・㉞鹿籠(鹿籠一丁目)などがみられる。ここに掲げた近世初期の地名は現在もかなり多くのものが町内会名などに使われて残っている。

近世の地名は次回紹介する近世中期以降のものを含め96の小字名(山川の名を除く)があった。そのうち今日ほぼ比定できるものは66ある。残りの30地名は近代以降次第に用いられなくなった。その最大の理由は明治時代に土地台

帳の作成によって、政治的に地名が整理され、地券交付が

近世初期の府中の地名 (推定図)



行われたことによると考えられる。

※文章中の番号は地図中の番号に対応している。

※()内は昭和50(1975)年以降の新住居表示

府中町文化財保護審議会委員

熊野 俊浩

問い合わせ

教育委員会生涯学習課

☎ 286-3272